

みどりみらい ぐんじとしのりの議会報告

2003/04/12 Vol. 130 西の原 2-3-6-104 TEL/FAX
45-8362

E-MAIL ID / toshigunji@hotmail.com

印西市議会/平成 15 年第 1 回定例会報告 (6)

いつもお世話になっております。印西市議会 (3 月定例会) は、3 月 25 日 (火曜日) にて終了しました。今回は、平成 15 年度予算の審議についてご報告をさせていただきます。

議案審議とその結果 (3)

平成 15 年度印西市一般会計予算について

平成 15 年度 当初予算 292 億 7264 万円 (一般会計 194 億 5000 万円 /
特別会計 91 億 260 万円 / 企業会計 (水道会計) 7 億 2364 万円)

* 一般会計予算審査について

(結果/可決。 ~ 私は、何点か苦言を執行部に申し上げて、態度としては「賛成」を
しました。以下に私が行った「賛成討論」を抜粋して、記載します。)

今回、来年度予算の審査をするにあたって、何をどのように評価していいのか迷いました。つまり、今回の予算のどこに力点を置き、どこに特色があるのだろうかということ判断しづらかったのが事実です。もし、この予算案に点数をつけるとすれば及第点を与える事ができるのであろうか。非常に苦心しました。

* 平成 15 年度の新規事業について

新規事業一つをとっても、最初に目的があって、その目的はどのようなものがあり、
どのような財源が使われ、事業概要はどのようになっている、その期待されるべき結果は
どのようなものになるのか。これらがしっかり説明されていなくてはなりません。

しかし、どの書類をみれば、これらが、一目瞭然わかるのでしょうか？今後、印西市では事業評価を行っていくそうですが、そもそも、事業評価は結果をみてから次につなげるために判断すべきではなく、新規に事業をやりたいという場合、P D C A サイクル*に基づき、目的、費用、期待される結果を提示し、それを行うべきものです。 - これは民間企業では、当然であり、必要不可欠なことです。

* P D C A サイクル (P : 計画、D : 実践、C : 点検、評価、A : 見直し)

自治体は利益を出す事が目的ではないので、どうすれば最小の投資で、最大のサービス形成ができるのか。しっかり考えていただきたいと思います。

- 特に、市町村合併を考える今、他の自治体のサービスには注視して欲しいものです。本年の印西市の主要事業、何が新しいサービスでしょうか？目新しいものは残念ながらあるように思えません。一例を提示します。

* 「資源循環型拠点施設 用地取得事業」1 億 2834 万円。

資源循環型。。新しい言葉がでてきました。一体何をするための施設でしょうか？印西市の「基本構想」にこのようなものはありません。先日迄、私が所属する環境審議会では「環境基本計画」が検討され、更に市長に答申が行われました。しかし、その中にも記載がありません。この計画はいつ頃、誰が考えたのか？考えれば考えるほどわかりません。検討経緯について、場所について、建設費用について。市民への説明責任は当然果たされていません。私は、疑問符がつく施設ではないかと思ひます。思いつきで新規事業となるものでしょうか？何となく、事業は始まるものでしょうか？先に「用地取得」という計画ありきで、あとで理由付けを考えたものではないでしょうか？

当初予算（案）の概要ですが、以下のように記載されています。

歳出面では、市の基本方針、実施計画等に基づいた計画行政を実現するうえでも、実施事業の厳選や維持管理費の精査、各種団体への補助金・負担金についての見直しを行い、限りある財源で有効かつ効率的な成果が得られるよう予算を編成する。

しかし、この事業は、市の基本構想、基本計画を無視するようなものではありませんか？どのように考えるのでしょうか？（明確な回答は得られていません。）

*** 次に「福祉の充実」について述べたいと思います。**

「扶助費*」という数字を例に取り、説明をさせていただきます。

* 扶助費。。社会福祉費、老人福祉費、児童福祉費、生活保護費及び衛生費などを含む。

平成 15 年度 印西市。。。 対前年度当初予算比 + 18.8% 9 億 3053 万 3 千円。

- プラスであったことは評価できますが、では隣の白井市の数字は。。と調べると

平成 15 年度 白井市。。。 12 億 3053 万 3 千円

（参考 / 白井市（一般会計予算 169 億 3300 万円 >> 印西市が 25 億 2 千万円も多い））

この差は一体何でしょう？印西市では、具体的な主要施策については次の枠組みにより予算を編成したと文書で説明があります

- (1) どの年齢層においても安心安全なまちづくり
（現在の笑顔のあるまちづくりのための予算配分）
(2) 将来の活力あるまちづくりのための骨格づくり
（将来の笑顔のあるまちづくりのための予算配分）

聞こえの良い言葉をいうのは簡単です。しかし、現実に白井市と考えた方に基本的な隔たりがあるのではないのでしょうか？それがこの予算に表れています。この差額を知って市民は笑顔でいられるのでしょうか？この現実を執行部ではどのように考えているのでしょうか（私は政治の役割はいかに不安を取り除く事にあるかにあると考えます。）扶助費がプラスになったことは評価されますが、努力が足りないといわざるをえません。市町村合併を控えた今、本当に合併の取り組みを視野にいれたのか、この扶助費に関しても疑問です。

*** また、教育費についても申し上げなければならないことがあります。**

数字のみを見ると、一般会計中、比率は No1 . 金額は約 36 億。しかし、内容を精査すると学校の整備、設計委託費がその中の 40% をしめています。印西の子どもたちに教育委員会は何かを提供するのか。目新しい事業はありません。隣の白井市では、学校評議員の設置を行い、学習指導要領への不安を避ける為に、習熟プリントによる小中学校全学年における基礎学力の定着や科学技術、理科離れに対応するバイオ教育事業を行うそうです。さて、印西市では。。。何もありません。これでいいのでしょうか？子ども達に我々大人が残せるものの一つは教育による学力、その機会の提供のはずです。しっかり教育委員会では考えていただきたいと思います。

色々執行部には苦言を呈しました。執行部では、今後とも市民の要求がどこにあるのかを、常に把握をしながら、情報開示、市民との情報の共有を行って欲しいと望みます。まずは、市民の目線で、全体の行政運営をとらえなおし、市民要求実現、市政の不透明性の解消と財政の健全化に一層力を尽くされることに期待をし、消極的ではありますが、賛成としました。

いつもご声援、ご支援ありがとうございます。次回は 3 月議会最後のご報告を中心に紙面を発行させていただきます。この紙面へのご意見に限らず、市政全般へのご提言、ご批判、皆様からのご相談はいつでも承ります。あるべき市政の姿を求めて皆様と考えていきたいと思っております。よろしくお願い申し上げます。

ぐんじとしのり